

広報まきのはら MAKINOHARA

新茶の季節到来

絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う
NEXTまきのはら



特集 平成29年度

市の施政方針・予算・主要事業

特集 片浜小学校

ありがとう そして 未来へ

April
2017
NO.187

4



は、昨年12月に権利者の皆様を対象とした全体説明会を開催。組合による土地区画整理事業の実施に向けた準備組合の発足と、具体的なまちづくりの検討を提案し、9割以上の皆様の賛同がありました。

これを受け、牧之原市IC北側土地地区画整理準備組合が設立され、今後、権利者の合意形成や関係法令の手続など、事業実施に向けた本格的な協議が始まります。

移住・定住施策の空き家、空き地バンクや子育て家族定住支援制度は、適正に管理され、中古住宅の流通促進や世帯の子育て世帯が制度を活用することから、平成29年度も継続して取り組んでいます。

また、結婚新生活支援助成金についても、助成額の増額や要件緩和に加え、新婚世帯への新たな家賃支援制度を創

設し、「牧之原市住む住むサポート制度」として積極的に取り組み、少子化対策や地域の活力創出などを図ります。

魅力ある産業雇用プロジェクト

産業雇用については、頑張っている事業者の戦略的な成長の支援や、外国資本の対日投資促進の取り組みを重点として取り組んでいきます。

M I J B C (Makinoohara Japan) 事業では、本年2月に浙江省にある中国企業が、本市に日本支店の進出を決定し、M I J B C 事業に関する提携協定書の調印式も実施しました。

経済交流はもちろんのこと、観光や文化、教育各分野の交流を推進し、地域経済の活性化と雇用の創出に結びつくよう事業の促進に努めています。

「活き活きと健康で活躍プロジェクト」

地域に根ざした健康づくりを目指して、小学校区単位にモデル地区を指定し、地区担当保健師による健康教育や家庭訪問、地区組織活動の支援などを行い、市民との協働による地域に必要とされる健康づくりを推進していきます。

福祉については、平成30年度から第3次障がい者計画の策定を予定しており、障がいがある人もない人もすべての人人が地域社会の中で共に生きる社会を目指します。

公共施設最適化プロジェクト

平成28年11月に公共施設マネジメント基本計画を策定し、施設分類別の方向性などを示しました。この基本計画の方向性に基づき、施設分類別個別計画の策定を進めていきます。

先導的プロジェクトの片浜小学校については、学校施設であつた特色を生かし、人々が主体的に学ぶことができる人づくりの拠点施設となる活用を検討していきます。

府舎施設については、市街地の中心にある公共不動産と

して、まちのエリア価値を高める使い方を市民の皆様と一緒に検討する必要があると考えています。先進事例なども参考にしながら、まちづくりの意欲を高めています。

英語力の向上のため平成29年度は、ALTをさらに1人増員の5人体制とし、英語をより身近に感じる環境づくりに努めます。

また、イングリッシュ・キャブンの開催期間を2日間から3日間に拡大し充実を図ります。

併せて、中学2年生を対象とした英語能力判定テストを導入し、本事業の成果指標とするとともに、英検受験への意欲を高めています。

英語力の向上のため平成29年度は新たに35人の校内推進員を設けるとともに、各学校に電子黒板機能付きプロジェクトタブレットなどのICT機器の配置を拡大し、教員の校内研修や教材の活用研究を進めます。

育力を推進しています。本年度は新たに35人の校内推進員を設けるとともに、各学校に電子黒板機能付きプロジェクトタブレットなどのICT機器の配置を拡大し、教員の校内研修や教材の活用研究を進めます。

震災津波対策については、津波防災まちづくり計画に基づき、平成30年度までに津波避難施設12カ所と避難地・避難路20カ所の完成を目指し取り組んでいます。平成29年度末には、津波避難施設の全12カ所と避難地・避難路15カ所が完成の見込みです。

平成29年度 市の 施政方針・予算・主要事業

本年度のまちづくりの方針や予算、主な事業についてお知らせします。

問い合わせ 施政方針：企画政策課 源間 ☎050-0040 / 予算・主要事業：財政課 本杉 ☎050-0054



市議会2月定例会で施政方針を述べる西原市長

5つの 「重点プロジェクト」 を確実に進める

重点プロジェクトを確実に進める

平成29年度は、第2次牧之原市総合計画および牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の3年目となり、総仕上げに入りました。

津波防災まちづくり事業による安全安心の確保や、5つの重点プロジェクトである

「宝子ども育成プロジェクト」「輝く高台開発プロジェクト」「魅力ある産業雇用プロジェクト」「躍躍プロジェクト」「活き活きと健康で活躍プロジェクト」「公共施設最適化プロジェクト」を確実に進めていきます。

市全体が一丸となって事業の推進が図られるよう、対話による協働のまちづくりを推進していきます。

宝子ども育成プロジェクト

本年4月に、幼稚園から運動形態を転換した相良こども園がスタートします。

病後児保育を新たに静波保育園で実施し、今まで家庭で保育せざるを得なかつた病気からの回復期の児童を園で預かることで、子育てをしながら働く保護者の支援の充実を図ります。

また、新たに妊娠・出産包括支援事業を開始し、母子健康手帳の交付からお子様が1歳になるまでの間、専従職員が訪問や相談などを行い、きめ細かな支援を実施します。

教育については、ICT教

度から第3次障がい者計画の策定を予定しており、障がいがある人もない人もすべての人人が地域社会の中で共に生きる社会を目指します。

東名高速道路相良牧之原IC北側区域の開発についてC北側地区を指定し、地区担当保健師による健康教育や家庭訪問、地区組織活動の支援などを行い、市民との協働による地域に必要とされる健康づくりを推進していきます。

牧之原市は、大茶園や駿河溝といった自然環境に加え、富士山静岡空港や御前崎港、東名高速道路相良牧之原ICなどの交通インフラや、自動車産業を中心とした製造業など多様な産業を擁しており、魅力的な地域の要件を備えています。

東京五輪サーフィン競技の事前合宿地招致や富士山静岡空港のにぎわい、新幹線新駅構想などを最大限に活用しながら、牧之原市を知つて、訪れてもらうための情報提供や事業実施に積極的に取り組み、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを進めています。



市議会2月定例会初日（2月27日）に、西原市長が29年度のまちづくりの方針を述べました。

施政方針

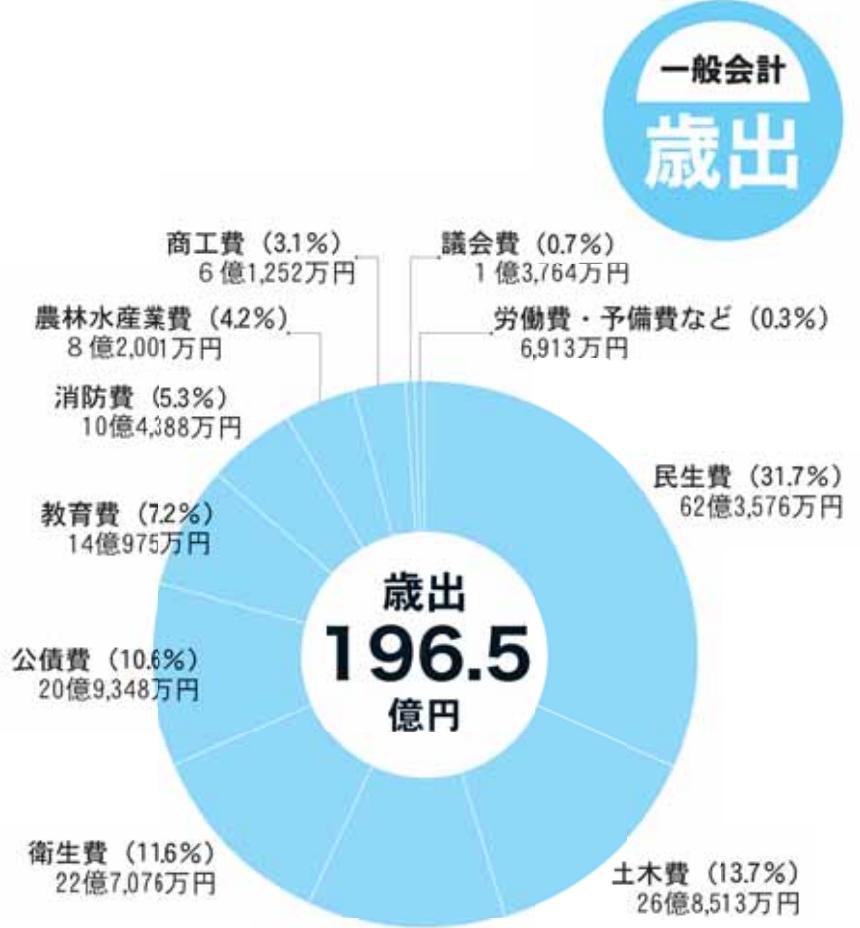
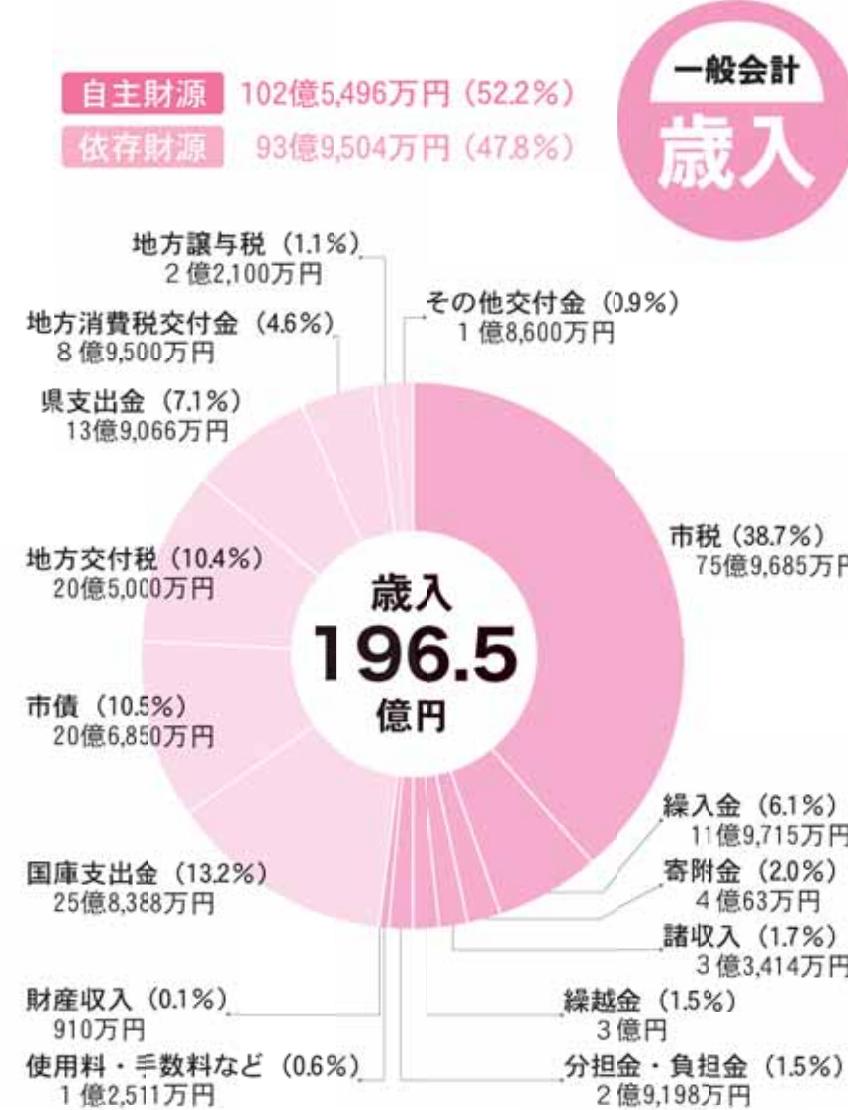
地震津波対策については、津波防災まちづくり計画に基づき、平成30年度までに津波避難施設12カ所と避難地・避難路20カ所の完成を目指し取り組んでいます。平成29年度末には、津波避難施設の全12カ所と避難地・避難路15カ所が完成の見込みです。

* 今回掲載している施政方針全文から一部を抜粋して掲載したものです。
施政方針全文は、橋原、相良庁舎の情報公開コーナー、市ホームページでご覧ください。
<http://www.city.makinohara.shizoku.jp/pg/shicho/en/981.html>

予算

平成29年度の一般会計当初予算は196・5億円です。「英語力向上やICT（情報通信技術）を活用した教育」「移住・定住施策」など、次世代の発展に重点を置いた予算編成を行い、予算規模は過去2番目の大ささで4年連続の積極型予算となります。

「もの教育」や
「移住・定住施策」に重点



各会計の予算額		
会計名	予算額	伸率
一般会計	196億5,000万円	1.3%
特別会計	110億8,303万円	2.1%
国民健康保険	61億263万円	△0.1%
後期高齢者医療	4億4,961万円	1.0%
介護保険	45億1,871万円	5.4%
土地取得	32万円	185.1%
農業集落排水事業	1,176万円	0 %
企業会計	20億970万円	28.0%
水道事業	20億970万円	28.0%
総合計	327億4,273万円	2.9%

*水道事業会計の予算は収益的支出額と資本的支出額の合計

用語解説

- ▶ **予算** 一般会計（市の行政運営の基本的な経費を経理する会計）、特別会計（特定の事業を行うための会計）、企業会計（民間企業と同様に独立採算で運営する会計）の3つに分かれている
 - ▶ **歳入** 地方公共団体の会計年度におけるすべての収入
 - ▶ **自主財源** 地方公共団体が自主的に収入できる財源。地方税、分担金および負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金など
 - ▶ **依存財源** 国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入。地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など
 - ▶ **市税** 市に認められた税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
 - ▶ **繰入金** 市の基金（貯金）などから一般会計へ入れるお金
 - ▶ **諸収入** 延滞金や預金利子、雑入など、他の歳入科目に含まれない収入
 - ▶ **国庫支出金・県支出金** 市町村が行う特定の事業に対して、国または県から交付されるお金
 - ▶ **市債** 国や金融機関などからの借入金（市の借金）。公共施設の整備や地方交付税の保管財源として借り入れる
 - ▶ **地方交付税** 全国の市町村が標準的な行政サービスが行えるように国から市町村に交付されるお金。国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税などの一定割合の額を再分配するもの
 - ▶ **歳出** 地方公共団体の会計年度におけるすべての支出
 - ▶ **民生費** 高齢者や障がい者にたいする福祉や子育て支援など、安定した社会生活を保障するための経費
 - ▶ **土木費** 道路や河川など社会資本を整備するための経費
 - ▶ **総務費** 行政全般の事務などに関する経費
 - ▶ **衛生費** 健康増進や疾病予防、環境保全など、市民の健康で衛生的な生活を維持するための経費
 - ▶ **公債費** 市債の元金や利子を支払う経費
 - ▶ **教育費** 教育や生涯学習の充実、文化振興などのための経費
 - ▶ **消防費** 常設消防（消防署の運営経費）、消防団活動の支援、防災対策のための経費
 - ▶ **農林水産業費** 農業振興のための支援や農業委員会の運営などのための経費
 - ▶ **商工費** 商工業や観光の振興、企業誘致、空港利用促進のための経費
 - ▶ **議会費** 市議会を運営するための経費
 - ▶ **労働費** 勤労者の福利厚生や雇用対策のための経費
 - ▶ **災害復旧費** 自然災害の被害を受けた施設などを復旧するための経費
 - ▶ **予備費** 予算編成時に予期しなかった支出に対応するための費用

や建屋補修を行います。また、静岡牧之原茶のブランド力強化、消費および販売拡大など経営体質強化を図ります。商工費は、中国からの投資を呼び込む「M-I-J-B-C構想」や相良牧之原IC北側区域の開発、ふるさと納税などの推進を実施します。また、ビーチスポーツを活用した若者の誘客や沿岸地域の再生を推進します。

歳出の民生費は、こども医療費の無料化や放課後児童クラブの受入拡充を継続。病気の回復期にある子どもを、専用保育室で専門スタッフが一時預かりする病後児保育事業などを行います。

土木費は、落橋防止対策や津波避難地・避難路整備などを行ないます。また、市内大

学習支援サポートの配置、電子黒板やタブレットの増設によるICT活用の推進を実施し学力向上を図ります。

歳入　　の法人市民税は、中國景気の減速や英国のEU離脱に向けた金融市場の混乱などから、前年度より4・7%の減少としました。固定資産税は、自動車関連企業の業績回復による設備投資により、4・6%の増加としました。

財源の調整分は、財政調整基金（貯金）を9億5千万円、減債基金を2億円取り崩し、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債6億円を借り入れることで対応します。

市債は、大幅に増額となつた道路整備事業の財源としたため、2億8千万円増加の20億7千万円としました。2年ぶりに20億円を上回ります

総務費は、移住・定住施策として、新婚世帯への家賃助成や、空き家を活用した移住お試し体験施設の整備補助を行います。また、交通弱者の移動手段を確保するデマンド交通の試験運行を実施します。

衛生費は、専従職員を配置し相談支援体制を強化。また、妊娠婦の出産や検診の助成、聴覚障害の早期発見や治療、療育につなげる新生児の聴覚スクリーニング事業などを行います。

教育費は、ALT配置人數の増員やイングリッシュユキヤンブの充実、英語能力判定テストの導入など英語力サポート

主要事業

市の総合計画における6つの重要政策に掲げている項目」ととに、開発・魅力ある産業雇用・活き活きと健康で活躍・公共施設最適化の5つの重点プロジェクトに関わるものです。

「絆と元気が創る幸せあふれみん なが集うNEXTまきのはら」 の実現に向け

生活基盤 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

- 移住・定住支援事業 3,205万円
若者の婚姻率の増加や市内への定住を促進。
- 新婚さん住む住む助成 960万円
空き家を活用した移住体験施設の整備費用を助成。
- お試し移住体験推進事業 896万円
交通弱者の移動手段を確保する。
- デマンド交通試験運行実施事業 129万円
- 市道大倉壱丁田線・市道東萩間西原線整備事業 11億2,500万円
- 落橋防止対策事業 3,000万円



牧之原市への移住・定住を支援

市政経営 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

- 公共施設マネジメント基本計画先導的プロジェクト推進事業 489万円
片浜小学校の利活用の推進や公共不動産のエリア価値を高めるための施設としての検討を進める。
- 公営住宅等ストック総合改善事業 250万円
- 消防団詰所建設事業 400万円
- 総合健康福祉センター（さざんか）大規模改修事業 1,500万円
デイサービスセンターうたりの閉所に伴う施設の事務所化などに向けて実施設計を行う。



公共施設マネジメント基本計画の推進

産業経済 活力とにぎわい、人を呼び込む産業づくり

- MIJBC (Made in Japan by china) 構想事業 1,000万円
中国からの対日投資を呼び込む。
- ビーチスポーツ等を活かした観光まちづくり事業 333万円
若者の誘客や沿岸地域の再生を推進。
- 新拠点開発推進事業 3,814万円
相良牧之原インターチェンジ北側区域の土地区画整理事業実施に向けた計画策定などを行う。
- 茶業振興事業 1,359万円
- 御前崎港旅客船誘致事業 300万円
- 東京五輪事前合宿地等誘致事業 393万円



MIJBC事業の推進に関する連携協定を結び対日投資を呼び込む

健康福祉 支え合い活き活きと暮らせる地域と人づくり

- 放課後児童クラブ運営事業 6,689万円
病気の回復期にある子どもを専用の保育室で専門スタッフが一時的に預かる。
- 病後児保育事業 421万円
- 子ども医療費助成事業 1億8,961万円
- 新生児聴覚スクリーニング事業 121万円
聴覚障害の早期発見や治療、療育につなげる。
- 妊産婦通院等支援事業 1,050万円
- 妊産婦出産包括支援事業 229万円
専従職員を配置し相談支援体制を強化。



安心して子育てができる環境づくり

教育文化 地域全体で学び、育てる教育の場づくり

- 英語力向上サポート事業 2,311万円
外国人英語指導助手の配置やイングリッシュキャンプを行い、語学力の向上を図る。
- ICT（情報通信技術）活用推進事業 2,147万円
電子黒板やタブレットを活用した授業を行う。
- 相良中学校サブグラウンド改修工事 5,793万円
県の萩間川改修事業がグラウンド用地に影響することから、グラウンド機能を確保するため改修。
- 学校施設トイレ洋式化事業 787万円
平成29年度の改修で全校完了。



英語力の向上を図るイングリッシュキャンプ

防災 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

- 都市防災事業 5億8,287万円
津波避難路等整備（6路線）や津波避難タワー整備（1カ所）、ソーラー照明灯設置工事（15カ所）保育園自家発電施設整備（1カ所）などを行う。
- 地頭方漁港海岸防潮堤整備事業 1億5,100万円
- 静岡地域消防救急広域化事業 6億6,120万円
- プロジェクト「TOUKAI-O」総合支援事業 2,408万円
- 同報無線デジタル化整備事業 2,365万円
総務省の規制に対応するため、同報無線のデジタル化を推進。



Fブロック(市営住宅東海団跡地)に完成した津波避難タワー



ありがとう

そして未来へ

片浜小学校

平成29年3月31日、片浜小学校が62年の歴史に幕を閉じました。

片浜小学校の統合

片浜小学校は、片浜地区の学校として明治5年から存在し、場所や名前を変え、昭和30年に今の小学校となり皆さんに親しまれています。一時は、300人を超える児童が在籍しましたが、平成14年度に100人を下回り、21年度には54人に減少。市内初の複式学級ができました。

片浜小学校は地域との結びつきが強く、地域に愛される学校でした。市は、複式学級ではない教育環境で子どもを学ばせたいと考えました。

一方、地域は学校の存続を願っていました。学校統合の話を持ち上がつてから7年が経過した平成28

年3月、市と地域の思いが一つに重なることは困難でしたがが、牧之原市議会での審議を経て統合が決まりました。片浜小学校の児童は、平成29年4月から隣接する相良小学校へ通うことになりました。

平成28年度の一年間は学校やPTAそして地域が、最終年にふさわしい一年となるよう、また、子どもたちが相良小学校でも「浜っ子」らしさを発揮できるようにと、一丸となつて力を注いできました。

また、地域の皆さん�が参加した運動会や海岸清掃、チャレンジスクールでは、夕食だけでなく、もらしい湯などで交流しました。他にも大根づくりや芋切干づくりなど、多く

夢ある統合の実現に向けて、子どもたちは年間を通して、計画的に相良小学校の児童と一緒に遊んだり授業を受けたりして、交流を深めました。また、スクールバスに関しては、保護者と市や学校が一緒にルートや停まる場所を話し合い、試験運行を行つてきました。子どもたちが戸惑いや緊張の中でも、学校スローガン「ありがとうそして未来へ」の心と、片浜小学校での思い出を胸に、相良小学校で多くの友達と一緒に大きく成長することを期待しています。

ありがとう そして 未来へ



平成28年度片浜小学校長
大石友巳さん

平成28年度学校スローガン「ありがとう そして 未来へ」のもと、学校や保護者、地域が一丸となって取り組んできました。

スローガンは、多くの地域の方々が学校を支え、献身的なPTA活動への協力により、充実した学校生活を送ることへの感謝の念と、相良小学校へ行っても片浜小学校で学んだことを生かして「決意も新たにがんばるぞ!!」という思いを持った子どもを育てるという願いが込められています。浜っ子魂いつまでもです。

長きにわたり、本校教育のために尽力いただいたすべての方々に、深く感謝申し上げます。浜っ子の今後の活躍を心から願っています。

チャンス チャレンジ チェンジ



片浜区長
森下吉治さん

海と山の幸に恵まれたこの大地に、片浜小学校があり、62年の歴史に幕を閉じました。相良小学校への統合問題で懸念動いた数年間、学校を残そうと頑張った人たちもいました。

学校はなくなりますが、ここで学んだことは素晴らしい思い出とともに、心に刻まれると思います。相良小学校に行っても、片浜に育ち学んだことを忘れずに成長してほしいです。今後、残された小学校の跡地をどう有効活用していくかが大事になります。皆さんで知恵を出し合い、素晴らしいといわれる片浜でありたいと思います。

片浜っ子集まれ
「チャンス チャレンジ チェンジ」



片浜小の 1年

梅園見学や6年生ありがとうの会、お別れ遠足、相良小の児童との交流、思い出に残る片浜小の学校生活。

いちごの植え付けや大根の種まき、サツマイモの収穫、チャレンジスクール、音楽発表会、公民館祭、切干芋つくり、相良小の児童との交流。



片浜地区のまちづくり

片浜地区では、小学校の閉校後もみんなで力を合わせて片浜を盛り上げていくことができるよう、区民を中心にさまざまな地域の人や市職員も加わった計35人からなる「片浜地区まちづくり計画策定委員会」を立ち上げ、平成28年9月から話し合いを重ね、まちづくり計画をつくりました。

計画のサブタイトルは「浜っ子集まれ！今がチャンス！チャレンジ！チェンジだ！」に決定。地区内外の人とつながりながら、平成29年4月から動き出す事業を、①片浜小学校の利活用、②海岸の魅力発信（海岸清掃）、③マルシェに出店・農園づくり、④いいとこまんじゅう（旧駐在所の活用）の4本としました。

片浜地区は、4月から新たなスタートを切ります。



閉校に伴う事業に関する実行委員会

区会やPTAを始めとした地域の人たちと学校で構成した「閉校に伴う事業に関する実行委員会」では、「記念誌作成部」と「式典部」の2部に分かれて準備を進めました。

記念誌作成部は、昔の写真の提供を呼びかけ収集し、寄稿文の依頼や印刷業者との校正作業を行いました。何度も集まり、素晴らしい記念誌をつくりあげました。

式典部は、閉校式に関する計画や準備を進めるとともに、当日の進行などで中心となりました。



学校として明治5年から存在し、場所や名前を変え、昭和30年に今の小学校となり皆さんに親しまれています。一時は、300人を超える児童が在籍しましたが、平成14年度に100人を下回り、21年度には54人に減少。市内初の複式学級ができました。

片浜小学校は地域との結びつきが強く、地域に愛される学校でした。市は、複式学級ではない教育環境で子どもを学ばせたいと考えました。

一方、地域は学校の存続を願っていました。学校統合の話を持ち上がりつてから7年が経過した平成28

年3月、市と地域の思いが一つに重なることは困難でしたがが、牧之原市議会での審議を経て統合が決まりました。片浜小学校の児童は、平成29年4月から隣接する相良小学校へ通うことになりました。

平成28年度の一年間は学校やPTAそして地域が、最終年にふさわしい一年となるよう、また、子どもたちが相良小学校でも「浜っ子」らしさを発揮できるようにと、一丸となつて力を注いできました。

また、地域の皆さん�が参加した運動会や海岸清掃、チャレンジスクールでは、夕食だけではなく、もらしい湯などで交流しました。他にも大根づくりや芋切干づくりなど、多く

夢ある統合の実現に向けて、子どもたちは年間を通して、計画的に相良小学校の児童と一緒に遊んだり授業を受けたりして、交流を深めました。また、スクールバスに関しては、保護者と市や学校が一緒にルートや停まる場所を話し合い、試験運行を行つてきました。子どもたちが戸惑いや緊張の中でも、学校スローガン「ありがとうそして未来へ」の心と、片浜小学校での思い出を胸に、相良小学校で多くの友達と一緒に大きく成長することを期待しています。

ありがとう そして 未来へ



平成28年度片浜小学校長
大石友巳さん

平成28年度学校スローガン「ありがとう そして 未来へ」のもと、学校や保護者、地域が一丸となって取り組んできました。

スローガンは、多くの地域の方々が学校を支え、献身的なPTA活動への協力により、充実した学校生活を送ることへの感謝の念と、相良小学校へ行っても片浜小学校で学んだことを生かして「決意も新たにがんばるぞ!!」という思いを持った子どもを育てるという願いが込められています。浜っ子魂いつまでもです。

長きにわたり、本校教育のために尽力いただいたすべての方々に、深く感謝申し上げます。浜っ子の今後の活躍を心から願っています。



片浜区長
森下吉治さん

海と山の幸に恵まれたこの大地に、片浜小学校があり、62年の歴史に幕を閉じました。相良小学校への統合問題で懸念動いた数年間、学校を残そうと頑張った人たちもいました。

学校はなくなりますが、ここで学んだことは素晴らしい思い出とともに、心に刻まれると思います。相良小学校に行っても、片浜に育ち学んだことを忘れずに成長してほしいです。今後、残された小学校の跡地をどう有効活用していくかが大事になります。皆さんで知恵を出し合い、素晴らしいといわれる片浜でありたいと思います。

片浜っ子集まれ
「チャンス チャレンジ チェンジ」

片浜小の
閉校式

思い出ある学び舎との
お別れと決意

片浜小学校の閉校式が平成29年3月19日、閉校に伴う事業に関する実行委員会と教育委員会、そして学校の三者の共催により行われ、約600

2・3年生は「JRCの活動」(5・6・7)、1年生は「片浜の栽培活動」(8・9・10)、4・5・6年生は「全員なかよし全校でがんばる浜つ子」

(1)(2)(3)の劇を披露しました。その後、校長先生から一人に修了証書が手渡され、それぞれが「がんばり宣言」をしました。(1)(2)

最後に、片浜小学校の児童と教員、保護者でつくった歌「いつまでも」を全員で合唱しました。(1)

閉校式終了後は、思い出の校舎を見学し、参加者それぞれが片浜小学校に別れを告げるとともに、新たな決意を胸に刻みました。

いつまでも
作詞 平成26年度4・5
作曲 吉田研水
編曲 森田七重



片浜小学校のあゆみ

明治 5	大磯靈信庵に男神学校分校設置
明治 6	独立して大磯1153に校舎新築
年月不詳	片浜学校と改称
明治19	同上学校廃校、大江学校へ通学
明治33	白泉寺に大江学校片浜分教場を設置
明治39	分教場閉鎖、相良尋常小学校大江分教場へ通学
大磯1210（現在位置）	白泉寺に相良尋常小学校片浜分教場設置
明治42	大磯1210（現在位置）に校舎を新築
昭和16	相良尋常高等小学校片浜分教場と改称
昭和22	相良町国民学校片浜分教場と改称
昭和30	相良町立相良小学校片浜分教場と改称 独立して、 相良町立片浜小学校となる
昭和32	校歌を作成し披露
昭和34	鉄筋 2 階建校舎落成
昭和37	校章と校旗が完成 給食室設備完了、完全給食実施
昭和41	青少年赤十字（J.R.C）加盟
昭和47	県教研指定：読書指導研究会開催
昭和52	県青少年赤十字：J.R.C 研究会発表開催
昭和56	静教研指定：図書館教育研究発表会開催 大運動場落成
昭和57	プール完成
昭和58	優良P.T.A 文部大臣団体表彰
昭和60	鉄筋 3 階建校舎落成（現在の南校舎）
昭和62	体育館落成式
平成 2	学校誌「かたはま」発刊
平成 6	ふるさと交流学習開始(島田市立伊久美小来校)
平成10	新校舎（北校舎）起工式
平成11	新校舎（北校舎）落成式
平成12	南校舎改築工事（会議室・相談室・休養室） 北校舎前造園工事
平成16	創立50周年記念式典 記念誌「かたはま」発刊
平成17	豊かな体験推進事業地域研究指定 静岡新聞S.B.S あすなろ賞受賞
平成18	青少年赤十字活動研究指定
平成19	通学合宿『浜っ子チャレンジスクール』開始
平成20	J.R.C 県大会にて実践発表（グランシップ）
平成21	浜っ子見守り隊結成 第1回総会
平成24	南校舎屋上避難フェンス設置完了
平成27	全国環境美化教育優良校受賞
平成28	防災教育知事褒賞受賞
平成29	日本P.T.A 全国協議会長表彰 3月16日：第62回卒業証書授与式挙行
3月19日：開校式挙行	
3月31日：相良小学校との統合による閉校	

民生委員制度は100周年を迎えます

地域の身近な相談相手



高齢者世帯に食事をお届けする民生委員・児童委員さん

民生委員制度の始まりは大正6年(1917年)、岡山県で創設された「済世顧問制度」が始まりで、平成29年5月12日に制度創設100周年を迎えます。また、この日を「民生委員・児童委員の日」と定めています。

問い合わせ
社会福祉課 若杉 ☎ 0070

民生委員・児童委員とは

民生委員制度の起源である調査や相談、就職の支援などをを行うものでした。

現在の民生委員・児童委員は、住民の中から選ばれ、厚生労働大臣から委嘱(民生委員として活動することを依頼)を受け、無報酬のボランティアとして地域の皆さんのもとに寄り添っています。

児童委員は、民生委員が兼ねており、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する主任児童委員もいます。

民生委員・児童委員は、全国で約23万人(うち主任児童委員は約3万人)。市では99人(うち主任児童委員は6人)が活動しています。

身近な相談相手

民生委員・児童委員は、担当する地域の「身近な相談相手」として、住民からの心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安など、相談に応じています。

そして、その相談内容が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になります。

さらに、子育て世帯や高齢者世帯、障がい者世帯への定期的な訪問を行うなど、地域の「見守り役」にもなっています。

民生委員・児童委員は、守秘義務があります。相談内容や個人の秘密が他の漏れるこはありません。安心して気軽に相談してください。

主な活動内容

済世顧問制度は、貧しい人たちを助けるため、市町村の有力者が中心となり、貧困者の活動は次の7つです。

- ①担当地区内の住民の様子や福祉ニーズを把握する
- ②住民が抱える問題について相談に乗る
- ③福祉の制度やサービスなどの情報を提供する
- ④住民と関係行政機関や福祉団体との連携を図る
- ⑤住民が適切に福祉サービスを利用できるよう調整する
- ⑥見守り訪問など、生活支援のための体制づくりを支援する
- ⑦委員活動を通じて得た問題や改善について、行政に意見を提案する

⑤福祉について語ろう



19 「福祉のまちってどんなまち。それに向けて私たちができるることは」をテーマに中学生や高校生、関係機関などと一緒に語り合う。20 グループごと語り合った意見をまとめ発表し、福祉観を共有

④ボランティア活動



消防団本部

(敬称略)

階級	氏名
団長	伊藤正哉
副団長	木下和義、鵜村英雄、柴田満、神崎克典

分団長

(敬称略)

分団	担当地域	氏名
1	静波区（鹿島・道場町内会を含む）	大石佳史
2	細江区	小林和博
3	坂部区	村田幸介
4	牧之原（相良）・牧之原（棚原）区	鈴木健悟
5	勝間田区	飯塚徹
6	川崎区（鹿島・道場町内会を除く）	枝村俊吾
7	相良・福岡・波津・須々木区	久保裕章
8	大江・片浜区	紅林裕也
9	大沢・菅山区	山崎崇司
10	地頭方・落居・豊岡・新庄・遠渡区	大石有希
11	中里・白井・神寄・西萩間・東萩間区	長野真也

本年度は伊藤正哉新団長の下、520人の団員で市民の安全安心を守るために活動などを実施し、市民の防災意識を高めています。



実施している事業の種類

自立相談支援事業 (市社会福祉協議会へ委託)	生活の困窮に関する一般的な相談を幅広く受け付け、支援策を検討し、ハローワークなど各種相談機関と必要に応じて連携しながら実施していきます。
住居確保給付金	失職などにより経済的に困窮し住居を失った、あるいは失う可能性のある人に対し、家賃相当額の「住居確保給付金」を支給します。一定の要件があります。
家計相談支援事業 (市社会福祉協議会へ委託)	「公共料金が払えない」、「収入があるのに生活がうまく回らない」、「借入金が多い」など、家計のやりくりに問題があるケースへの支援を行います。
子どもの学習支援事業 (平成29年夏開始予定)	生活困窮などの理由で、十分な学習の機会に恵まれないお子さんに学習の機会を提供します。
就労準備支援事業 (平成29年秋開始予定)	「履歴書が書けない」、「面接にうまく答えられない」、「求職の申し込みの仕方が分からない」など、求職活動のノウハウを学ぶところから始め、早期の就労につなげる事業です。

消防

市民の安全安心を守る
平成29年度牧之原市消防団の体制

問い合わせ 防災課 加藤 ☎ (23) 0057

福祉

生活困窮者自立支援制度を活用しましょう
生活に不安をお持ちの方は相談してください
問い合わせ 社会福祉課 福田 ☎ (23) 0078

消防

市民の安全安心を守る
平成29年度牧之原市消防団の体制

問い合わせ 防災課 加藤 ☎ (23) 0057

福祉

生活困窮者自立支援制度を活用しましょう
生活に不安をお持ちの方は相談してください
問い合わせ 社会福祉課 福田 ☎ (23) 0078

地区長

(敬称略)

相良地区	種茂和男	萩間地区	長谷川明広	川崎地区	池田幹男	勝間田地区	木下勝朗
片浜地区	森下吉治	地頭方地区	山下太市	細江地区	赤堀康彦	坂部地区	大石吉彦
菅山地区	森田定	牧之原地区	大崎信博				

区長

(敬称略)

相良区	阿部一博	白井区	中田二三男	遠渡区	原口雅夫
福岡区	北川幸克	神寄区	坂本昌広	静波区	池田幹男
波津区	種茂和男	西萩間区	齊藤義雄	細江区	赤堀康彦
須々木区	鈴木義弘	東萩間区	小笠原博	川崎区	神谷好一
大沢区	森田明	牧之原区(相良)	水嶋眞志	勝間田区	木下勝朗
大江区	矢部定芳	地頭方区	山下太市	牧之原区(榛原)	大崎信博
片浜区	森下吉治	落居区	小塙賢司	坂部区	大石吉彦
菅山区	森田定	豊岡区	齋藤郁夫		
中里区	長谷川明広	新庄村	柏原好雄		

町内会長

(敬称略)

1丁目	山村豊	堀之内	飯田武	切山下	加藤高行
2丁目	大石茂	時ヶ谷	大草茂	切山中	村松直巳
3丁目	井狩明	道上	松浦富雄	勝田上	竹内實郎
4丁目	中西明俊	後原	西田敏文	勝田下	中田光高
東5丁目	村松活廣	谷の口	朝比奈紳弘	三栗	飯塚隆
西5丁目	平岡良夫	橋向	高塚昭男	朝生	本杉隆博
6丁目	辻和巳	藤沢	柴本博史	牧之原北	高塚優
仲町	渡邊敏明	橋柄	榎田勇治	布引原	八木康夫
10丁目	西谷萬壽男	新戸	山田幸雄	牧之原中央	根上茂治
11丁目	加藤隆夫	庄内	枝村明	牧之原南	山本佳延
12丁目	石川貞夫	鹿島	藤浪寛	坂部第1	小関武利
東慶林	大石龍雄	日機装	垂水正敏	坂部第2	栗田博之
県営住宅	大石ルミ	仁田	高橋英明	坂部第3	寺田克巳
青池	藤田郁夫	道場	中西康則	坂部第4	竹内俊弘
寄子	加藤正明	追廻	中原俊郎	坂部第5	板倉元
西福田	只井三好	中	伊藤道明	坂部第6	吉添利道
東福田	吉中幸平	勝間下	太田吉香		
根松	中山正雄	勝間上	山本隆市		

問い合わせ 企画政策課 松井 ☎ (23) 0053

自治

自治振興のリーダー！
平成29年度の地区長・区長・町内会長をお知らせします

5月の相談日です。
日々の生活の中で、誰かに相談したいと思っていることや疑問に感じていることはありませんか。
そんなあなたの声に応えるための各種無料相談窓口を紹介します。
秘密は厳守されますので、ひとりで解決しようとせず、まずは相談してみてはいかがですか。

**一般相談**

日常生活の中での困りごとや悩み、分からることなどの相談を受け付けます。困った場合は相談を。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
会場 市民相談センター
問市民相談センター ☎0088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金銭貸借などの紛争を解決。司法書士と民生委員が対応します。

期日 5月17日㈭・31日㈭
時間 9:00～11:30
会場 市民相談センター
問市民相談センター ☎0088

巡回交通事故相談

県交通事故相談所の専門相談員が、交通事故に関する相談に応じます。事前予約が必要となります。

期日 5月11日㈭
時間 10:00～15:00
会場 市民相談センター
問市民相談センター ☎0088

介護相談

期日 月曜日～金曜日
*祝日を除く
時間 9:00～17:00
(水曜日は19時まで)
会場 榛原庁舎2階相談室
相良保健センター
問高齢者福祉課 ☎0076

消費生活相談

契約トラブルや多重債務、通販、インターネット関連など、消費や契約に係る相談を受け付けます。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
会場 市民相談センター
問市民相談センター ☎0088

暮らしなんでも無料相談

日常生活でのトラブルや悩みごと、困ったことなどの相談を受け付けています。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～17:00
会場 相談ダイヤル ☎054(646)6055
問市民相談センター ☎0088

税の無料相談

税務・会計など税に関するあらゆる相談に無料で応じます。事前予約が必要となります。

期日 5月17日㈭
時間 13:30～15:30
会場 市民相談センター
問東海税理士会島田支部 ☎0547@6575

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思ったときの相談です。事前に問い合わせをして、気軽に相談ください。

期日 5月19日㈮
時間 13:30～16:00
会場 相良保健センター
問地域包括センターさがら ☎031900

法律相談(先着8人)

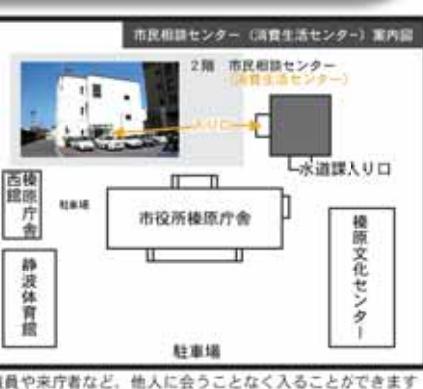
相続や遺産分割、離婚、多重債務や債務整理などの法律解釈や手続き、人権に関する相談などを無料で受け付けます。弁護士、行政相談員、人権擁護委員が1回30分で対応します。相談時には、参考となる書類などを持参してください。相談を受けるには、当日電話予約が必要です。

期日 5月10日㈭・24日㈭
日程
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 市民相談センター
予約 8:30～
当日電話予約のみ
問市民相談センター ☎0088

行政相談

行政相談委員が、行政に対する苦情や要望などの相談を受け付けます。

期日 5月10日㈭・24日㈭
時間 10:00～12:00
会場 市民相談センター
問市民相談センター ☎0088



*職員や来庁者など、他人に会うことなく入ることができます

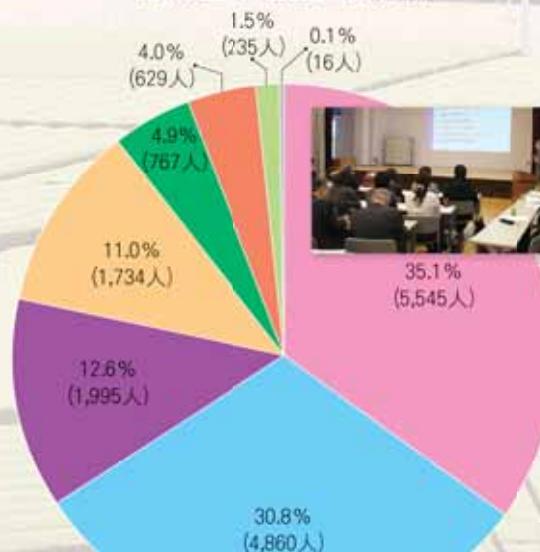
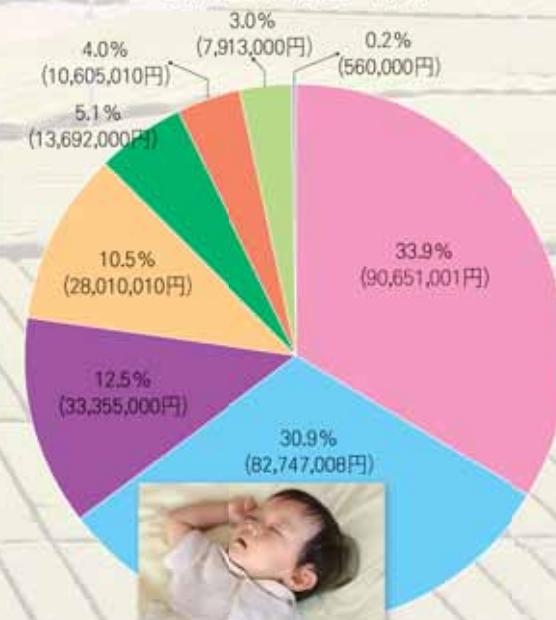
応援ありがとうございました！

平成28年度のふるさと納税寄附は、平成29年2月末現在で1万5781人から2億6753万3039円となり、多くの皆さんから納税寄附がありました。

寄附金の使途については、市政運営や健康福祉施策、教育文化施策などへの使用希望があり、当市も十分にお応えできるよう各方面的施策に取り組んでいます。

*平成29年2月28日現在。

寄付金の使途	人数(人)	金額(円)
市政運営(人材育成・住民自治・行財政運営)	5,545	90,651,001
健康福祉施策(子育て・高齢者・福祉・健康・医療)	4,860	82,747,008
教育文化施策(学校教育・社会教育・芸術文化)	1,995	33,355,000
産業経済施策(農業・水産業・中小企業・観光)	1,734	28,010,010
防災施策(危機管理・防災施設・消防・防犯・交通安全)	767	13,692,000
生活基盤施策(道路・河川・水道・公園・環境・交通・移住定住)	629	10,605,010
市長におまかせ	235	7,913,000
その他	16	560,000

寄付金の使途(人数)**寄付金の使途(円)****牧之原市民も牧之原市にふるさと納税できます！**

もちろん返礼品ももらえますので、今年もぜひお願いします。カタログを希望の方は、商工企業課まで問い合わせください。また、QRコードのサイトからでも申し込みができます。

選べる返礼品は約380品

ふるさとチョイス
QRコード



茶園で改植の仕方を学ぶ参加者

おいしいお茶が飲めますように

■改植（お茶植え）体験

お茶に興味を持ちお茶のファンを増やそうと、壳茶坊まるの主催によるお茶の改植体験が3月18日から20日、布引原地区の茶園で行われました。

参加者は茶農家の指導のもと、「みなみさやか」という名前の茶の木を、おいしいお茶が飲めるようにと、一本一本丁寧に植えていきました。

今回参加した皆さん、茶の木の成長を見守る「みなみさやか見守り隊員」に登録され、約4年後に、当日植えた茶の木からとれたお茶を、自宅で味わうことができます。

夜間での避難経路を確認

■地震・津波夜間避難訓練

県の津波対策推進会議に合わせ、地震・津波夜間避難訓練が、3月6日に市内で行われ、8,271人が参加しました。

訓練は、震度7の巨大地震が発生し、大津波警報が発表されたとの想定で実施され、午後7時ごろにサイレンと同報無線で避難を呼びかけました。

市民の皆さんは、懐中電灯で足元を照らしながら、津波避難ビルや津波避難タワーの津波避難施設など、各地区の避難場所へと一斉に避難し、災害に対する危機意識を高めました。



懐中電灯で足元を照らしながら階段を上る皆さん

日本の心であるお茶を全国にPR

■お茶親善大使の橋幸夫さん記念コンサート

牧之原台地周辺5市（牧之原市、御前崎市、掛川市、菊川市、島田市）のお茶親善大使である歌手の橋幸夫さんが3月20日、新茶季節を前に県外にお茶PRしようと、菊川市文化会館アエルでコンサートを開催しました。

コンサート後には、橋さんと5市の市長のもとに川勝平太静岡県知事が激励に訪れ、お茶への思いやり取り組みなどについて話し合いました。

橋さんは「お茶は日本の心。アピールを頑張っていきたいです」と意気込みを話しました。



自宅で家族を見取る物語を上演した劇団たんぽぽ

最期のときを自宅で過ごしたい

■ゆずり葉の季節

高齢社会へ向け自分の生き方や、家族の絆について考えるきっかけとなつてもらおうと、劇団たんぽぽと各市町が協力し公演する、厚生労働省推薦作品「ゆずり葉の季節」が3月15日、い～らで行われました。

作品は「最期のときを自宅で過ごしたい」と考えた末期ガンの母を家族で看取る物語です。

来場者は「自分の生き方のヒントになりました。住み慣れた家で幸せな最後を迎えるたいです」と話しました。



主催者と橋さん、5市の市長のもとに訪れた川勝県知事

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報を待ちしています。

秘書広報課 ☎052 230052 E-mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



努力した功績をたたえる

■教育委員会表彰／山崎こども教育賞

学業や文化活動、スポーツなどで優れた成績を残した児童生徒や団体などをたたえる「牧之原市教育委員会表彰」と、公益財団法人山崎こども教育振興財団主催の「山崎こども教育賞」の表彰式が3月5日、い～らで行われました。

市教育委員会表彰は、教育の各分野で県大会1位またはそれに準ずる成績があった26人、3団体が受賞。さらに、その中でも全国大会などで好成績を収めた6人には、「少年少女ノーベル賞」が贈られました。

また、山崎こども教育賞では、あいさつや掃除など、他の児童生徒の模範であると評価された27人が受賞しました。



坪池教育長から教育委員会表彰「少年少女ノーベル賞」を受ける受賞者

世界で1台だけのバス運行

■バスを彩る絵を描こう

牧之原市初のスクールバスに小学生が描いたイラストをラッピングしようと3月4日、ワークショップ「バスを彩る絵を描こう」がい～らで行われ、抽選で選ばれた児童45人が参加しました。

講師である市内在住のイラストレーター岩本陽子さんの指導の下、児童らは「海」「サーファー」「茶畠」「自転車に乗った人」とそれぞれの担当に分かれ、絵を描きました。

参加した児童は「自分たちの絵が描かれたバスに乗れるのが楽しみ」と話しました。



岩本さんに描き方を聞きながら絵を仕上げる児童たち



学校を卒業し地域に根付いた看護を目指す八木さん

看護師として新たな一步

■組合立静岡県中部看護専門学校卒業式

組合立静岡県中部看護専門学校（焼津市）の卒業式が3月4日行われ、35人が卒業しました。

原宏介校長は「向上心を忘れることなく、自覚と誇りを持ち、患者さんに信頼される看護師になってほしい」と卒業生に言葉を送りました。

卒業した八木華怜さん（細江）さんは「将来は高齢者を中心に、地域に根付いた看護を行っていきたい」と抱負を語りました。

卒業生の35人のうち4人が、榛原総合病院で看護師として働いています。

人のうごき（牧之原市の人口）
POPULATION

■人口 46,413人（前月比+53人）
 (内外国人 1,322人)
 男性 23,033人 女性 23,380人
 出生 22人 死亡 43人
 転入 273人 転出 301人
 そのほか - 4人
 ■世帯数 16,476世帯（前月比+51世帯）
 平成29年3月31日現在（住民基本台帳人口）

忘れないで（税の納付期限など）
TAX etc

5月の納期一覧
 固定資産税 第1期 5月31日水
 軽自動車税 全期 5月31日水
 国民健康保険税 随期 5月31日水
 後期高齢者医療保険料 随期 5月31日水
 保育料 5月分 5月31日水
 市営住宅使用料 5月分 5月31日水

トップページ（表紙のお話）
TOP PAGE

牧之原新茶まつり・新茶祈願祭が3月12日、茶ぐりん牧之原で開催され、多くの来場者でにぎわいました。来場者は、新茶の星茶サービスや茶の芽天ぶら試食、お茶の手もみ体験、ハウス茶園での手摘み体験を楽しみました。

待っています（広報紙の感想）
READERS VOICE

読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、牧之原市への思いなどを待っています。
 ☎421-0495 静波447番地1 秘書広報課
 Email:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



川瀬 みのりちゃん（1歳）

平成27年4月21日生（細江）
 ❤もうすぐ2歳みのりちゃん
 ❤ごはん大～好き !! いっぱい食べて大きくな～れ♪♪♪



増井 美桜ちゃん（1歳）

平成28年1月7日生（細江）
 笑顔が素敵な美桜ちゃん☆食いしん坊で外で遊びこと、踊ることが大好き♪元気に育ってね☆



川上 武琉くん（2歳）

平成27年3月17日生（神崎）
 たけるくんが生まれてから、家の中が一気に賑やかになつたよ。可愛い笑顔が大好き♥



大内 彩華璃ちゃん（1歳）

平成28年2月8日生（相良）
 食いしんぼうで、いつもにこにこ。そのままで、明るくのびのび大きくなつたよ！

元気なKIDS募集中

7・8・9月号の掲載希望のキッズを受け付けます。申込時間を守って、電話で申し込みをしてください。

申込日時 6月2日金 午前8時15分～

申込資格 掲載時に市内在住の4歳未満の子ども
申込先 秘書広報課 ☎052-0052

「小さな本の大きなせかい」こどもの読書週間（4月23日日～5月12日金）の期間中、図書館ではしおりを配布します。

ハッピーイースター

ヨシエ著
くもん出版刊



イースターの日には春が来たことをお祝いします。庭でチョコレートの卵を探したり、家族みんなが集まってパーティーをしたりする、とっても楽しい日。ところがるーくんとはなちゃんのイースターパーティーに灰色のうさぎがやってきて…。

探さない暮らし
余裕が生まれる家づくり

Gemini著
KADOKAWA刊



家族の片づけ力がアップ。探したいものが、すぐに見つかる家になる！探し物をするムダな時間が減ると、少しの時間で家事がはかどり、ママがぐっとラクになります。DIY&リメイクの楽しみ方も収録。

スラムにひびく
バイオリン
ゴミを楽器に変えた
リサイクル・オーケストラ
スザン・フッド作
サリー・ワーン・コンポート絵
汐文刊



バラグアイの貧しいまち、カテウラ。このまちのゴミの山には、美しい音楽が埋もれていた…。ゴミを楽器に変えたリサイクル・オーケストラの子どもたちが、世界中でコンサートを開くまでの実話を描いた絵本。

晴れ着のゆくえ

中川なみ著
文化学園文化出版局刊



祖父は孫娘のために、むらさき草を育て紫根染めの晴れ着を作った。やがて晴れ着は、少女のもとを離れ、幾人かの数奇な運命と共に歩むことになる…。晴れ着を巡る物語。

児両	てんぐのてんちゃん とっこわんわん	フェリケえつこ
児両	しょうぎのくにのだいぼうけん	中倉彰子作福山知絵
児両	3日ずつのおりもの	ひづる作/ほじお絵
児両	サイアク！	花田靖子作/西口ヒロコ監

児……児童書 両……一般書 両……相良・榛原両図書館で借りることができます。 全……両図書館・ひまわり号で借りることができます。

相良図書館（相良保健センター2階） ☎052-2649
 榛原図書館（榛原文化センター2階） ☎052-0094

開館時間 午前9時～午後5時
 *水曜日は午後7時まで。
 休館日 ▶毎週月曜日（祝日は開館）▶年末年始
 本の返却 相良町役場直室または、榛原文化センターで返却可能。（年末年始除く）

般両	子どもの身長ぐんぐんメソッド	佐藤千一・川口由美子監修
般両	何がちがう？どうちがう？似ている日本語	佐々木瑞枝
般両	銀の猫	朝井まさて
般両	本を守ろうとする猫の話	夏川 草介

移動図書館ひまわり号巡回日程－5月

(写真で紹介している図書はひまわり号でも借りることができます)

1コース／5月9日火	5コース／5月23日火
2コース／5月10日水	6コース／5月24日水
3コース／5月16日火	7コース／5月30日火
4コース／5月17日水	8コース／5月31日水

運行表は図書館に置いてあります。

平成29年度まきのはら

おごかけカレンダー

市内で予定されている主なイベントや行事です。

*予定が変更になる場合あり。会：会場 主：主催 ☎：問い合わせ

30年度
4月

3

2

1

12

11

10

9

8

6

5

4

上旬

中旬

下旬

上旬

中



輝け!未来

かわしま・かんた
川嶋

相良中3年
須々木区
栢汰さん

未来の自分にありがとうといわれるよう毎日進歩していきたい

将来のために努力しなさい。今年受験生となるぼくは、最近そんな言葉をよく耳にします。努力が報われたときに、未来の自分は喜び、そして今の自分に対し感謝をします。だから、ぼくは未来の自分にありがとうといわれるよう日々を生きようと決めました。今日の努力は未来の浮き輪、明日の努力は将来の救命ボート、毎日進歩していきたいです。

▼今年度も引き続き、広報まきのはらを担当します。よろしくお願いします▼今年も牧之原新茶まつり・新茶祈願祭は、市内外から訪れた多くの人にぎわいました。祈願祭やお茶の手もみ体験をカメラで撮影した後、ハウス茶園に移動し、新茶の茶摘み体験を撮影しました。「こうやって、一つずつ摘むんだよ」とお父さんから教えてもらひながら、子どもがお茶摘みを体験。「見て。おつきいのとれた!」と満面の笑顔でお茶摘みを楽しんでいました。この撮影後、再び会場に戻り、各ブースを回りながら、新茶を使った茶の芽天ぷらや、急須で入れた新茶を味いました。口の中にふわっと広がるさわやかな新茶の味と香りは最高です。五感で「新茶の季節到来」を感じることができた一日となりました。



ペンを置いてー編集幸記